

各 位

上場会社名 株式会社 名村造船所
 代表者 代表取締役社長 名村 建彦
 (コード番号 7014)
 問合せ先責任者 取締役経營業務本部長 名村 建介
 (TEL 06-6543-3561)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(以降の記載金額は百万円未満は四捨五入して表示しております)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,000	△300	△300	△100	△2.07
今回発表予想(B)	50,289	720	742	867	17.98
増減額(B-A)	2,289	1,020	1,042	967	——
増減率(%)	4.8	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	47,369	3,711	3,717	1,976	40.97

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,000	△1,400	△1,300	△700	△14.50
今回発表予想(B)	40,379	△785	△449	△173	△3.58
増減額(B-A)	1,379	615	851	527	——
増減率(%)	3.5	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	34,863	2,857	2,828	1,650	34.19

修正の理由

主たる理由は、連結財務諸表提出会社(当社)および函館どつく株式会社の業績予想の上方修正であります。

当社の売上高については、当社新造船事業において船主要望による追加工事の発生や当第2四半期累計期間売上船の未ヘッジ外貨が期初計画(1米ドル当たり105円を前提)よりも円安水準で円転できたこと等により増加するとともに、新造船事業における改善活動によるコストダウンが進んだことによって、営業利益、経常利益、四半期純利益についてそれぞれ改善することができました。

また、函館どつく株式会社においては修繕船事業において売上高および営業利益が期初予想値を上回り、更に税効果会計適用により四半期純利益が押し上げられました。

一方、下半期については、現在の円高傾向に鑑み当第3四半期及び第4四半期に売上を予定している船舶の未ヘッジ外貨を1米ドル当たり100円とすることや鋼材価格動静についても依然として不透明な状況であるところから次期以降竣工船に係わる受注工事損失引当金の積み増しも懸念されることから現計画値を下回ることも予想されるため、通期業績予想は、個別・連結共に現公表値のまま据置いたしました。

上記予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、経済情勢・為替相場変動によるリスク等不確定要因により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上